

重要文化財保存修理事業記念
企画展

臨春閣

りん しゅん かく

— 建築の美と保存の技 —

修理中建物の
貴重な装飾の数々を
三溪記念館でご紹介。

2020.10.15(木) — 12.20(日)
9:00～17:00(入場は16:30まで)

会 場 三溪記念館(三溪園内)
観覧料 無料(入園料でご覧いただけます)

主 催 : 三溪園(公益財団法人三溪園保勝会)
後 援 : 横浜市、横浜市教育委員会
協 力 : 株式会社児島工務店、株式会社小西美術工芸社、栄建具工芸、
公益財団法人文化財建造物保存技術協会、株式会社便利堂、中商株式会社



国指定名勝
三溪園
SANKEIEN GARDEN

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷58-1
TEL:045-621-0634・5 ※お問い合わせの際は、番号をお間違えないようご注意ください。
<https://www.sankeien.or.jp>
58-1, Honmoku-sannotani, Naka-ku, Yokohama City
※不測の事由により、中止または内容を変更する場合があります。

臨春閣 — 建築の美と保存の技 —

臨春閣の洗練された“美”と
保存修理の“技”を三溪記念館でご紹介。

三溪園を創設した原三溪は、当時、豊臣秀吉が建てた聚楽第の遺構とされていた臨春閣を「桃山御殿」と呼び、秀吉ゆかりの美術工芸品で室内を装飾して日々の生活を楽しみました。実際に、ここでは長男・善一郎の婚礼や三溪自身の葬儀が行われ、園内にある建物のなかでも特別であったことがわかります。

この臨春閣では現在、約30年ぶりとなる屋根葺き替え工事を中心とした重要文化財建物保存修理工事を行っています。

今回の工事ではあわせて耐震補強を行っています。これに伴い、屋内の欄間やそれに付随する色紙などを取り外し、状況の芳しくない一部は修理を行いました。特に、壁に埋め込まれていた「板絵十二支図額」は類例がなく貴重な作品で、詳細な調査が行われました。本展ではこれらの美術工芸品の数々を、臨春閣内に戻す前に三溪記念館で特別に公開します。このほか、30年前に高度な技術を要するコロタイプ印刷をもって複製に置き換えられた障壁画も、今回初めて原本と並べて展示します。

文化財建造物を守り伝える保存修理の技術もまた、貴重な美術工芸品とともにこのたびの工事では不可欠な要素です。本展では、修理工事の過程とともに、それらの技術も作品や資料を通してご覧いただけます。

〈主な展示作品〉彫刻欄間（波、菊、桐）、浪華十詠和歌色紙、板絵十二支図額、伝狩野永徳筆「芦雁図」、花鳥人物彫屏、黒漆螺鈿欄間人物図屏（地袋戸）、春日出新田建築図 ほか



2020.10.15(木) — 12.20(日)
9:00～17:00(入場は16:30まで)

会場 三溪記念館(三溪園内)

観覧料 無料(入園料でご覧いただけます。)

主催 三溪園(公益財団法人三溪園保勝会)

後援 横浜市、横浜市教育委員会

協力 株式会社児島工務店、株式会社小西美術工芸社、栄建具工芸、
公益財団法人文化財建造物保存技術協会、株式会社便利堂、中商株式会社

新型コロナウイルス 感染症拡大防止の 取組について

皆様が安心してご来園いただけるように、
次の点に取り組んでまいります。

- スタッフの検温、マスク着用、手洗い・うがいの徹底
- 入園料金等受け渡し時のトレイ使用
- 窓口スタッフとお客様との間に透明シート等の設置
- 施設内供用部分の清掃・消毒の強化

保存修理工事のお知らせ

重要文化財臨春閣および旧東慶寺仏殿は、屋根の葺き替えや耐震補強等の工事を行っております。期間中は、仮屋根・足場等により建物の観覧範囲が狭くなりますので、ご了承ください。

工事期間

臨春閣 2019年1月～2021年春(予定)
旧東慶寺仏殿 2020年9月～2023年(予定)

ご来園の際は、次の点にご協力をお願いいたします。

- 37.5℃以上の発熱や体調不良、風邪などの症状がある場合の入園の自粛
- 入園時の手指アルコール消毒や手洗いの励行
- 入園時や、観賞・散策・休憩時など、他のお客様との間隔の確保
- マスクの着用や咳エチケット、その他周りのお客様へのご配慮
- 連絡先登録カードへの記名または神奈川県LINEコロナお知らせシステムへの登録
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、お願いする事項が増えることがあります。

